

祝

辞

本日ご卒業を迎えられました皆様並び
にご列席の保護者の皆様ご卒業おめで
とうございます。

後援会を代表いたしまして謹んでお祝
い申し上げます。

これから新しい世界へと羽ばたいてい
く皆さんの中には、就職する人、家業を
継ぐ人、さらに勉学を続ける人など、今
後の道は多様ですが、それぞれ未知の世
界に向けて希望に燃えていらっしやる
ことと思います。どの道に進もうとも、
この短大で学び過ごしたことを誇りに、
さらなる可能性を求めて進んでいって

欲しいと思っています。

明日になれば、それぞれの新しい日常が待っているわけですが、社会に足を踏み入れる皆さんは、自分の考えを持って選択することができる自由を得られ、一方で思い通りにならない不自由さと閉塞を感じるようになるでしょう。

楽しいこと、嬉しいことがあるのが社会であれば、同時に辛いこと、寂しいことがあるのも社会です。そんな、時に人を温かく包み込み、時に人に厳しく接する社会において、皆さんには大きな大きな夢を持って、自分を信じて生きて欲しい、欲しい、そう強く思います。

不思議なもので、人は大人になるにつれ、持っていた夢を現実にとし込むようになります。それはつまらないことです。

楽しくないことです。胸いっぱい夢を心に携え、いっぱい笑って、いっぱい悲しんで、人生を謳歌してください。未来は無限の可能性に満ちているということを信じてください。他人と過去は変えられません、自分と未来は変えることができます。

希望や期待とともに、慣れ親しんだ学校や友人と別れなければならぬ寂しさを感じている人も多いのではないでしようか。けれども、皆さんには「別れ」をいい意味で受け取ってほしいと思います。「別れることがなければ、めぐり合うこともない」という西洋のことわざがございます。

高校、短大それぞれに別れと新しい出会いがあったように、皆さんにはまた新しい出会いが待っています。人は別れや出

会いをくり返して、深みのある人間へ成長していくものなのかもしれません。

最後に二年間ご指導いただきました学長はじめ諸先生方に心から感謝申し上げますとともに、本日ご列席いただきました皆様のご多幸と山村短期大学の益々のご発展を心より祈念いたします。とお祝いの言葉とさせていただきます。

平成二八年三月十六日

山村学園短期大学 後援会

会長 山岸 朱美